

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立春日出小学校 学校協議会

1 総括についての評価

今年度は、全校遠足や運動会、縦割り班活動、大縄週間、学習発表会、スマイルフェスティバルなどを通して、当該学年での活動だけでなく異学年での活動も行い、豊かな心を育む取り組みを進めることができた。学力については、全国学力・学習状況調査と小学校学力経年調査の結果を見ると、すべての学年において向上した。一方で、読み取る力に課題があることがわかる。令和6年度は本校の研究テーマを国語科「相手に伝わるように、自分の思いを話す子どもを育てる～付けたい力を明確にした言語活動の充実～」としてきたが、今後は読み取る力の向上にも重点を当てて研究を進めていく。また、体力について、学級遊びや縄跳び週間、大縄週間、長距離走など、持久力向上の取り組みを行ってきた。持久力向上のための取り組みを工夫して、さらなる体力向上を図っていく。

今後も、子どもたちの学力・体力を向上させ、豊かな心を育み、元気に学校生活を送れるよう、学校の努力と保護者、地域の協力により子どもたちを支えていく。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。（R6年度78%）
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。（R5年度3.07%、R6年度2.22%）
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。（R5年度30%、R6年度60%）

本校の年度目標

- ① 令和6年度末の学校評価アンケートにおいて「学校は、PTA・地域・区役所・消防等と連携して、防災・減災教育に取り組んでいる」の肯定的回答の割合を80%以上にする。（R6年度83%）
- ② 令和6年度末の児童アンケートにおいて「自分にはよいところがある」の肯定的割合を80%以上にする。（R6年度86.5%）

令和6年度、特別な支援を要する児童の個別の支援計画の作成は、100%保護者の参画のもと行う。（R6年度100%）

- 学力向上のためには、まずは楽しく学校へ登校できることが大切。学校が楽しくないと、学力は向上しない。
- 登下校時、子ども達は、見守り隊の方々の元気なあいさつに触発され、元気にあいさつができる子が多い。
- 学校が落ち着いているということが、学力を向上させるうえで大事な要素である。
- 「困ったことが起きたときは、自分から友だちや先生に話している」という質問への児童の肯定的回答が多いことは素晴らしい。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標（小・中学校）

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 38%以上にする。(R4 年度 36.7%、R5 年度 38.7% R6 年度 31.8%)
- ② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。  
(R5 年度)  
3 年 国語 -2.3 ポイント 算数 -0.4 ポイント  
4 年 国語 +0.9 ポイント 算数 -1.6 ポイント  
5 年 国語 +5.6 ポイント 算数 +13.4 ポイント  
(R6 年度)  
4 年 国語 +4 ポイント 算数 +6 ポイント  
5 年 国語 +5.5 ポイント 算数 +2.3 ポイント  
6 年 国語 +14.7 ポイント 算数 +18.6 ポイント
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上にする。(R4 年度 74.2%、R5 年度 78.5% R6 年度 75.9%)
- ④ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。(R4 年度 71%、R5 年度 69%、R6 年度 65.3%)
- ⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 71%以上にする。(R5 年度 86%、R6 年度 64.4%)

### 本校の年度目標

- ① 令和 6 年度末の児童のアンケートにおいて「友だちと話し合いながら学習することは楽しい」の肯定的回答の割合を 95%以上にする。(R5 年度 94% R6 年度 93.5%)
- ② 令和 6 年度全国学力・学習状況調査において、前年度より各教科とも 1 ポイント以上向上させる。  
(R5 年度 国語 62 ポイント 算数 54 ポイント)  
(R6 年度 国語 69 ポイント 算数 66 ポイント)
- ③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「投球能力」に関する項目「ソフトボール投げ」を前年度より全国平均値に近づける。  
(R5 年度)  
男子 学校平均 18.80 全国平均 20.52 女子 学校平均 11.40 全国平均 13.22  
(R6 年度)  
男子 学校平均 17.93 全国平均 20.75 女子 学校平均 13.55 全国平均 13.15

- 体力面について、20メートルシャトルランの結果が低い。練習したら伸びる。なわとびやシャトルランの練習を定期的に取り入れると良いのではないかな。
- 体育施設開放事業でもソフトボール投げの練習を行った。今後も学校と連携を深められれば良い。
- 学力面の成果が素晴らしい。
- 学力面の英語が課題。今後、英語の学力向上についても頑張りたい。英語については、中学校でも同じく課題に挙げられている。苦手意識がある。指導を工夫する必要がある。
- 学力が上がると、教職員のモチベーション向上にも繋がる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事など、ICT活用が適さない日数を除く）  
（R6年度 69.8%）
- ② 「ゆとりの日（ノー残業デー）」を設定・実施する。

#### 本校の年度目標

- ① 令和6年度末の児童アンケートにおいて、「パソコンやタブレットを使った授業はわかりやすい。」の肯定的回答を 87%以上にする。（R6年度 88.9%）
- ② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を令和6年度末に 80%以上にする。（R6年度 100%）
- ③ 小学校学力経年調査において、「読書は好きですか」との問いに、肯定的に回答する児童の割合を、68%以上にする。（R6年度 72.4%）

- 残業が減っているということが素晴らしい。
- 残業を減らす取り組みについて、今後も引き続き続けて欲しい。
- 今後も読書活動を推進させて欲しい。
- パソコンやタブレットは楽しいと思うが、最近の子ども達はスマホでゲームをやり過ぎている印象がある。スマホでゲームをやり過ぎると、集中して取り組む力が欠如するのではないか。読書をする時間を一週間に10分間だけでもいいので、設けてはどうか。

### 3 今後の学校運営についての意見

- 学力向上では素晴らしい成果があった。学力を向上させるうえでのポイントを押さえ、次年度以降へと繋げて欲しい。
- 残業が減っているということは労働環境が守られているということ。今後も続けて欲しい。
- 読書活動を引き続き推進していただきたい。